

編集後記

2024年は、1月1日に石川県能登地方を中心とする大規模な地震が発生し、大変な年明けとなりました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地ではいまだ不自由な生活が続いており、あらためて日々の「生活」の大切さについて考えさせられるところです。

さて、「生活科学研究第46集」には、研究員、準研究員や文教大学教員の皆様からご投稿いただき、お陰様で論文8編、研究ノート4編の計12編を掲載することができました。ご投稿いただきました執筆者の先生方に深く感謝申し上げます。また、今年度1月に、時代のトレンドに合わせて、生活科学研究の「投稿規程」や「論文執筆・投稿要領」を修正いたしました。本誌「生活科学研究」のより一層の発展を願い、次年度以降も皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

本研究所では2023年度4月に新たに、大塚明子研修部主任（人間科学部人間科学科教授）をお迎えし、プロジェクト研究や公開講座の開催にご尽力いただきました。また、同4月に研究所職員として文教大学人間科学研究科修士課程の修了生である浅野更紗さんをお迎えし、金藤ふゆ子所長のもと、はからずも女性4名の基幹メンバーで研究所運営をおこなっております。

末筆ではございますが、2009年4月より2015年3月まで、当研究所所長をお務めになった人間科学部 教授 神田信彦先生が2023年度末を持ちまして文教大学をご退職の運びとなりました。これまでのご功勞に敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

生活科学研究所 研究部主任 鎌田晶子